

第4回利賀ダム建設事業監理委員会審議結果

1. 日 時：平成29年7月18日(火) 15:30～17:00

2. 場 所：利賀ダム工事事務所 会議室

3. 審議結果：

○規約改定について

- ・一部改定案を説明し、了承を得た。

○第3回委員会の審議結果について

- ・第3回委員会の審議結果について説明し、了承を得た。

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・事業実施状況及びダム検証結果を報告。
- ・ダムの全体計画や今年度の工事実施内容を説明し、了承を得た。

○コスト縮減に関する事項について

- ・第3回委員会以降の設計段階及び工事施工段階の各段階におけるコスト縮減の取り組みを説明し、了承を得た。
- ・今後のコスト縮減方針について、以下の事務局案を説明し、了承を得た。
 - 1) 利賀ダム事業のクリティカル工程を確認しながら、最短工程でダムが完成出来るように、工程管理に努める。
 - 2) 利賀ダム事業の工程について、工期短縮を念頭に必要に応じて随時見直す。
 - 3) 設計段階において、構造物比較検討、仮設方法検討、ICT (i-Construction) 等の新技術の積極的な活用などによりコスト縮減に努める。
 - 4) 施工段階において、工事間調整や現場での工夫などによりコスト縮減に努める。
- ・今後のコスト縮減方針について、以下を付け加えると良いと提案があった。
 - 1) 施工時の手戻りがないように調査・試験は十分に行うこと。
 - 2) 工程管理・コスト縮減を図ることも大切である一方、現場条件の厳しい中、工事の安全性を確保することも非常に重要である。
 - 3) 建設中のコストだけでなく、施設の長寿命化を図るなど維持管理に要するコスト縮減をする努力も続けてもらいたい。

○その他

- ・今後の工事工程や仮設計画を確認するために、まず河床へ降りるための道路工事を出来るだけ早期に行う必要があるとの意見があった。
- ・国土交通省全体でICTに取り組んでいるので、ダム本体工事に向けて、ICTの活用を図ることを検討し、対外的にアピールしていった方が良いとの意見があった。
- ・工事毎のクリティカルパスをよく精査しながら、工程管理をするべきであるとの意見があった。
- ・地域住民が事業に対し期待しており、引き続き事務所ホームページやイベントを通じて、事業の進捗状況等の情報を発信してもらいたいとの意見があった。